

第3部

具体的な活動

<家庭、地域、学校の連携・協働による児童の育成>

～長岡京市立長岡第三小学校PTA～

長三小PTAは、子どもたちの健全な育成のために、教育環境の整備に努めたり、あいさつ運動やPTA行事の企画・運営を通して、子どもたちと交流したり、見守ったりする活動に取り組んでいます。どの活動も学校、家庭、地域社会が連携しながら地域の方々と交流する機会も大切にしています。そして、誰もが無理なく持続可能なPTA活動を目指して取り組んでいます。



PTA行事「長三まつり」では、地域の方々にも協力していただきました。それぞれがアイデアを出し合い、たくさんのブースを設けました。



土曜日の人権参観日に、体育大会に向けて除草作業及び石拾いを行いました。子どもたちや先生方と保護者だけでなく、地域の方々の協力を得て取り組みました。

<地域と協働して行う子どもの居場所づくり >

～宇治市立三室戸小学校PTA～

土曜日が休日になった時から続いている、土曜日の子どもの居場所づくりの取組「ゴーゴーみむろ『フリースペース』」を年9回毎月第2または第4土曜日に開催しています。校庭や体育館を開放し、地域の団体とコラボもして多様な体験活動を企画し、子どもも保護者も楽しく参加できるような工夫をしています。

サップボード体験の様子



インストラクターにご協力いただき、プールにサップボードを浮かべてパドリングをしました。参加したみんなで特別な体験を楽しみました。

PTAが居場所を提供することで、子どもと保護者が安心して活動できる大切な場となっています。また、異学年間、保護者間の交流の場にもなっています。

一方で、利用者や内容の固定化もみられるので、新たな利用者の獲得を目指して、新しい取組内容の検討や普及活動の促進を図っていきたいです。

今後も、PTAと学校、地域がパートナーとして子どもたちの育成に努めていきたいです。

<子どもとともに成長できる生涯学習の場としてのPTA>

～城陽市立東城陽中学校PTA～

PTA活動を、「大人が学び、子どもとともに成長できる生涯学習の場」として位置づけ、生徒や保護者を対象とした講演会等を実施しています。講演会のテーマは、社会状況やPTA会員の意見、生徒の実態等を踏まえて決定し、ここ数年は、「包括的性教育」をテーマにした講演会を継続的に実施しています。



包括的性教育の講演を通して、子どもたちは「自分の体・心、人間関係を大切にする」という意識が、より強くなったようでした。

子どもと一緒に参加する講演会等によって大人も「学び直し」、子どもとの対話につながる新しい知識を得て、家庭での子育てや価値観の更新ができ、子どもとともに考え、ともに成長できる活動になった。

課題としては、保護者の参加者の固定化や、講演会の企画・講師手配・運営等の負担に偏りを無くし、イベントの継続性の確保をすることである。

<あいさつと笑顔を広げ、つながりを育む持続可能なPTA活動 >

～京丹波町立瑞穂小学校PTA～

瑞穂小学校PTAでは、「大人も楽しみ、無理なく続けられる活動」を大切にし、主体的で持続可能な取組を進めています。毎月のあいさつフライデーでは家庭や地域でできる形のあいさつ運動を展開し、PTAスポーツフェスタでは親子や教職員が交流を深めています。つながりを育み、学校づくりに参画するPTA活動を継続しています。



毎月第2金曜日に「にこにこあいさつフライデー」を実施。子どもと大人が自然に気持ちのいいあいさつができるように、家庭や地域で工夫して活動しています。



PTA主体でスポーツフェスタを開催。親子や教職員が一体となって楽しみながら交流し、学校づくりに主体的に関わる機会として実施しています。

<いのちの授業～いのちのバトンタッチ～ PTA人権学習>

～南丹市立園部中学校PTA～

園部中学校PTA人権部が中心となり、講師をお招きして「いのちの授業」の講演をしていただきました。講師様自身の体験(小児がんで亡くした長女との日々)を通し、命の大切さや生きることの意味を全校生徒に問いかけ考えさせることで、命は当たり前ではなく奇跡であること、人は一人では生きられないからこそ周りとのつながりが大切であることなどを大人と子どもで考えることができました。



全校生徒及びPTAの前で命の大切さについて講演され、自分の命と向き合う素晴らしい時間となりました。



生徒会長よりお礼の言葉を述べました。また、今回、命の大切さや幸せとは何かについて学んだことを伝えました。

<会員の声を受け、実態を踏まえて改善していくPTA活動>

～福知山市立雀部小学校PTA～

雀部小学校のPTAでは、毎年11月に親子で登校する取組を行っていましたが、「4月の方が気候も暖かいし、新1年生もその保護者も登校の様子が分かって安心できるのではないか。」との意見を受けて、令和6年度から4月に取り組むようになりました。また、本部役員数、行事数、役員免除の期間などを見直し、実態を踏まえた運営へと改善しました。



子どもと保護者、一緒に登校



参加した保護者の意見

春に行く「みんなの登校日」は、普段の登校の様子や通学路の様子を保護者が知ったり、親子で一緒に楽しく話したりしながら登校する機会となっています。登校後は学習参観があります。

登校の様子

班長さんが後ろを度々振り返りながら、1年生に合わせてゆっくり歩いてくれていて優しさが嬉しかったです。

気付いたこと

楽しく通学できていました。危険な所は一列で歩くよう注意したいと思います。

<「笑顔あふれる毎日を仲間と共に」青少年健全育成の実践事例>

～綾部市立中筋小学校PTA～

中筋小PTAは本部役員が熟議して毎年のテーマを決めています。今年度のテーマは『「笑顔あふれる毎日を仲間と共に」～自分を大切に・仲間を大切に・未来へ種をまこう～』でした。PTAが積極的に子どもたちにかかわることで、子どもたちだけでなく保護者の笑顔を増やしていきたいとの思いです。PTA会長が直接6年生児童に働きかけた「あいさつ運動」と保護者が先生になる「キャリア教育」の取組(R6・7)を紹介します。

「キャリア教育」



講師を務めた保護者の方から「子どもたちが興味を持って聞いてくれるので、誇らしく思えた。」「子どもたちの感想が大変うれしかった。身の引き締まる思いだった。」などの感想をいただきました。

「あいさつ運動」



6年生の子どもたちが全校で頑張るために幟(のぼり)の制作を考えました。中学校ブロックのあいさつの日を中心に保護者・地域の方にも協力いただいて、あいさつでつながることを大切にしています。

<地域と一体となって子どもを育むPTA活動>

～宮津市立日置小学校PTA～

日置小学校PTAでは、「心豊かで、命を大切にする子どもを育てよう」をスローガンに、家庭・地域・学校が一体となって子どもを育む活動を行っています。夏には、自治会と一緒に海岸清掃を行った後、体育の授業やPTA事業で海水泳を実施し、秋には、日置地区公民館に親子で集まって、「親子読書」の取組をしています。また、年間を通して、地域の「子ども安全見守り隊」と協働して、安心安全な登下校を支えています。



海岸の清掃をして、体育の水泳授業やPTAの海水泳を行います。地域みんなで日置の環境を守り、大人も子どもも、夏の美しい日置の海を満喫します。



秋の夜長、親子読書を行っています。読み聞かせをしたり、1冊の本をリレーで読んだり、子どもが抱っこされながら読んだり、親子で本の世界に浸っています。

<防災でつながる学校・家庭・地域 ～親子で学ぶ体験活動～>

～京丹後市立大宮中学校PTA～

家庭教育委員会主催の防災セミナー・防災ミニ運動会を行いました。市役所総務課の方から、災害時の対応や避難場所、避難所で使う物の紹介をしていただき、更に事前に集めた質問にも答えていただきました。家庭教育委員会では、非常食の試食や、安全に助け合って、「もしもの時、どう動くか」を体験する防災ミニ運動会を実施しました。楽しみながら真剣に防災を考える、大変有意義な時間となりました。



簡易テントやトイレ、段ボールベッドの組み立てを体験し、実物に触れ、寝心地を確かめることで、避難所での過ごし方をより具体的に捉えることができました。



防災ミニ運動会では、避難グッズの選別や重いリュックの搬送、負傷者との肩組み歩行、負傷者に見立てた人形の簡易担架による救護などを行いました。

<楽しもうPTA!つなげよう地域へのバトン! 我ら学校応援隊>

～京都府立井手やまぶき支援学校PTA～

やまぶきサポーター制度を導入し、「できる人が、できる時に、できる事を、」を念頭に置き、朝のあいさつ運動や、本のカバー掛け、校内の掃除、花壇の整備を行っています。



校内の掃除



ブックカバーかけ

PTA活動をより多くの方に知っていただくため、校内への活動内容の展示や、PTAのInstagram開設など、さまざまな方法で情報発信を行っています。保護者同士の交流や情報交換、学びの場をつくり、子どもたちの将来につなげていけるような活動を目指しています。井手やまぶき支援学校PTAは、「子どもたちのために」という思いと、もう一つ「保護者のために」という思い、この二つを大切に、これからもPTA活動を進めていきたいと考えています。

<子どもたちと共に楽しむ持続可能なPTA活動 >

～京都府立亀岡高等学校PTA～

亀岡高校PTAでは表題をスローガンに、文化祭でのキッチンカー出店や年5回の「あいさつ運動」、保護者、教職員を対象としたヨガ教室等を実施しました。全力でPTA活動をする我々の姿を子どもたちに見てもらい、自分のためでなく、誰かのために楽しみながら一生懸命活動する姿に何かを感じてもらいたいと活動してきました。



文化祭のPTA企画としてキッチンカー4台を地元出店者に協力いただき、保護者も楽しめました。



学校の一室をお借りし、学年毎に保護者、教職員が参加してのヨガ教室。体がほぐれ楽しかったとの感想をいただきました。

< 生徒の成長のためのPTA活動 ～保護者・地域・教職員との連携～ >

～京都府立木津高等学校PTA～

「できる範囲で、できることをする」をPTA活動のモットーにしています。保護者・地域・教職員が互いに連携・協働し、共通理解のもとで「木津駅前クリーン活動・校門挨拶運動」「進路セミナー」「PTA教養講座」など様々な活動に取り組んでいます。



【木津駅前クリーン活動・校門挨拶運動】
毎月15日に開催されている木津駅周辺の清掃活動に多くの地域の方々と生徒と共に参加し、交流を図るとともに環境整備に取り組みました。また、生徒の登校時に校門に立って挨拶運動を行っています。



【進路セミナー】
キャリア教育推進部と連携し進路セミナーを開催しました。教員による進路概況説明、最新の入試動向、本校の指導体制、奨学金等や企業に求められる力について情報共有をしました。



【PTA教養講座】
会員の交流と教養を高めるための場として、地域から講師を招き、和菓子作り&お茶会を開催しました。参加者の和気あいあいとした雰囲気の中、地域やPTA内の横の繋がりを深めました。

PTA 活動と生涯学習

<学びの場としてのPTA活動 指導者研修会の開催>

～京都府教育委員会～

京都府内の幼稚園・こども園、小・中・義務教育学校、府立学校PTAの指導的立場にある会員の皆さんが一堂に会して行われる研修会です。

社会の変化に対応し、家庭・学校・地域の教育力を一層高め、社会総がかりで子どもを育てる環境づくりに努めることを目指し、PTAの役割や活動の在り方について研鑽を深めるとともに、指導者としての資質の向上を図っています。

◇令和7年度京都府PTA指導者中央研修会

日 時 令和7年7月8日（火）

場 所 国立京都国際会館

内 容 (1) 基調講演

「これからのPTA～組織と運営について～」

講師 同志社大学 名誉教授

太田 肇 様

(2) パネルディスカッション

「これからのPTAについてみんなで考えよう」

ファシリテーター KBS 京都アナウンサー

梶原 誠 様

パネラー

同志社大学 名誉教授

太田 肇 様

亀岡市立つつじヶ丘小学校 校長

明石 慶三 様

京都府PTA協議会

副会長

藤井 友香子 様



約 680 名の方に参加いただき PTA 活動や子育ての原点について学びを深めました。

◇PTA指導者研修会（教育局別）

京都府教育委員会では指導者中央研修会の他、各教育局別でも研修会を開催しています。

- 乙訓 令和7年度乙訓親学びフォーラム
- 山城 令和7年度やましろ未来っ子みんなでHUGフォーラム
- 南丹 令和7年度なんたん子育てフォーラム
- 中丹 令和7年度みんなでコラボ in 中丹
- 丹後 令和7年度丹後PTA指導者研修会

◇京都府立学校PTA指導者研修会（ブロック別：山城、京都市部、口丹、両丹）

◇その他（京都府教育委員会が後援の研修会）

- 令和7年度第45回京都府公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会研修会
- 令和7年度第66回京都府PTA研究大会福知山大会
- 第49回近畿地区高等学校PTA連合会大会京都大会

<京都府PTA研究大会> 令和7年度 福知山大会

～京都府PTA協議会～

京都府内小・中・義務教育学校のPTA会員が、子どもたちの健やかな成長を目指し、家庭教育の充実や学校・家庭・地域と連携して子どもたちを育てる環境づくりについての研修を深めることをねらいとして毎年開催しています。

日時 令和7年10月26日(日) 12:00～16:30

場所 福知山市立惇明小学校(メイン会場)

内容

◇オープニング

福知山淑徳高等学校和太鼓

◇開会行事

◇講演

演題 『夢を実現するために』

講師 中西 悠子様 (元競泳選手/アテネオリンピック銅メダリスト)

◇閉会行事

◇分科会

- ・第1分科会「組織・運営」・第2分科会「生涯学習・読書活動」
- ・第3分科会「人権教育」・第4分科会「青少年健全育成」
- ・第5分科会「広報活動」
- ・第6分科会「家庭教育」

講演「ポストコロナで変わる子どもたちの姿」

～保護者としてどう寄り添えばいいのか～

講師 佛教大学 教授 原 清治 様



参加者アンケートでは、今後の検討課題とするべき開催方法や内容等についての貴重な御意見、参加者の貴重な学びの場になった等との感想が多数寄せられました。

参加者の感想 アンケートより

- 全体会の講演では、ご自身の経験をPTA活動につなげて、子どもたちのために明るく楽しみながら活動されたことや、PTA活動の大切さも教えていただきました。
- 分科会では、PTAの実践を聞かせていただき、会員相互の活発な質問や意見交流ができ、大変意義深い時間となりました。
- 全体会での講演や分科会に出席させて頂き、家庭と学校と一緒に子どもたちの育ちについて考えていく土台を作っていくことこそが重要だと改めて感じました。
- 分科会の講演では、子どもに自己決定の場面やつながりを広げる機会を増やすことが大切だということを学びました。子育てに悩んでいるたくさんの保護者に聞いてほしいと思いました。
- タイムスケジュールにもう少し余裕があるとよかったです。
- より多くの人に講演を聞かせていただくためにも、オンラインでも参加できる仕組みを取り入れるなど、時代に合った形にアップデートしていただきたいです。

家庭の教育力の向上に関する研修会等の実施～少年非行防止対策事業～

～京都府PTA協議会の取組～

◇家庭教育研修会

京都府PTA協議会が実施している年3回の研修会はいじめ・非行を予防するための親の在り方を考える学びの機会となっています。

令和7年度

○9月6日(土) 主管：与謝地方PTA連絡協議会

「子どもの本の現在」

児童文学評論家 赤木 かん子 様

【参加者の感想】子どもの本の現在について、多くの学びがありました。子どもたちのニーズをつかみ、発達段階に応じて、本を読ませることの大切さに気づきました。

○11月22日(土) 主管：南丹・船井PTA連絡協議会

「子どもの主体性を育む」

株式会社 Honki 事務取締役 久保田 暁 様

【参加者の感想】子どもたちの主体性を育むためにはティーチングではなく、コーチングが必要なことがよくわかりました。実際の生活でも活用していきたいです。

○2月7日(土) 主管：宇治市連合育友会

「能登半島地震の経験から防災について考える」

親子で学ぶ「ぼうさい」
シンポジウム

石川県珠洲市大谷小中学校PTA 川端 孝 様

提供 東京海上日動火災保険

コーディネーター

京都府PTA協議会常任顧問 丹羽 博美 様

パネリスト

石川県珠洲市大谷小中学校PTA 川端 孝 様

京都府PTA協議会長 田中 功一 様

宇治東消防署長 様

宇治市まち美化推進課職員様

【参加者の感想】能登半島地震で実際に避難所を運営された話を聞かせていただくことは大変貴重な機会でした。お話いただいたことをもとに、家庭や地域でも防災について考えたり話し合ったりする機会が必要であることを痛感しました。

◇いじめ・非行防止キャンペーン事業～声かけ(あいさつ)・見守り運動～



地域全体で子どもを包み込みはぐくむ環境づくりの一環として問題行動の減少に向け、いじめ・非行防止の機運醸成のため、地域の様々な団体と連携して声かけ(あいさつ)・見守り運動を展開しています。PTAだけでなく、民生委員や自治会等の地域の団体と連携し、たくさんの大人によって子どもたちを見守る活動を進めていただくことが、安心安全につながります。



京都府立学校のPTA会員が、家庭教育の充実を基盤に、変化の激しい社会を生き抜く力と豊かな心をもつ青少年の育成を目的に毎年開催しています。また、コロナ禍後のPTAの在り方を見据え、各PTAの魅力ある活動の交流を行い、PTA活動の更なる充実を図っています。

日 時 令和7年6月20日（金）14:10～16:30

場 所 京都ガーデンパレスホテル

内 容



◇実践発表

①京都府立鴨沂高等学校PTA

「時代に沿った活動と今だからこそできる新たなチャレンジ」

②京都府立清明高等学校PTA

「生徒と学校と保護者 みんなで考える学校づくり」



◇行政説明

①京都府警察本部サイバー企画課

「ネットトラブル対策講座について」
「防犯メールの活用について」



②京都府消費生活安全センター

「商品・サービスに関する契約や取引トラブルについて」

◇講演

演題 『心の礎（いしずえ）を築く部活動と親のサポート』

講師 メンタルトレーナー、ジュニアアスリート育成

元プロ野球選手 細見 和史 様（京都府立北嵯峨高等学校出身）

◇大会宣言文発表

◇閉会行事



当日は、約180名の参加がありました。実践発表ではコロナ禍を経て工夫した取組の紹介があり、参加者の関心を集めていました。講演では元府立高生であった講師より高校時代の得難い経験や子どもへの関わり方が示され、多くの参加者の心に残ったのではないかと思います。

<定時制郡部育友会連合会研修会に関する実践事例>

～京都府立高等学校定時制郡部育友会連合会～

会員同士の交流を図り、育友会（PTA）活動が活性化することを目指して研修会に取り組んでいます。

令和7年度 定時制郡部育友会連合会事業

1 総会、役員会及び研修会

年 月 日	事 業	会 場
令和7年5月26日 令和8年2月19日	幹事会	東舞鶴高等学校 浮島分校
令和7年7月9日	総会	リモート会議
令和7年11月13日	役員会及び研修会	グンゼ博物苑

- 2 京都府及び京都府PTA関係行事参加
- 3 京都府交通対策協議会関係参加
- 4 京都府高等学校定時制通信制教育振興会関係参加

令和7年度 定時制郡部育友会連合会総会・役員会及び研修会

日時・場所：令和7年7月9日(水)14時00分～15時00分

総会 リモート会議

令和7年11月13日(木)13時30分～16時00分

役員会・研修会 グンゼ博物苑

研修会の様子

研修Ⅰ

講 話：「グンゼと波多野鶴吉」

ガイド：グンゼ博物苑職員のみなさま

研修Ⅱ グンゼ記念館、グンゼ博物苑見学



講話の様子
(紙芝居)

グンゼ記念館
見学の様子



役員会での研究協議

研究協議では、会員が参加しやすい形態や方法、役員の方々が学校や会員のニーズに合わせて計画した事業紹介等、各校が工夫した取組の交流が図られています。また、こうした情報交流が、育友会（PTA）活動の活性化につながっています。